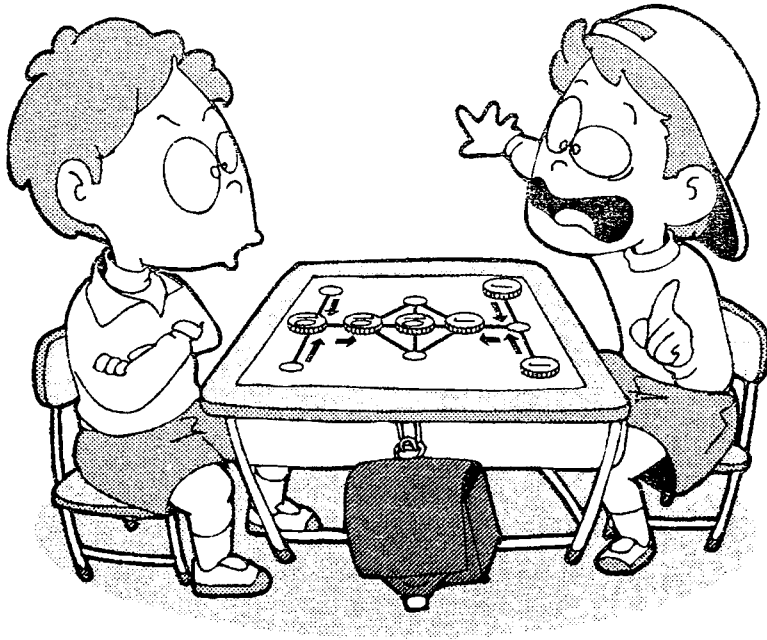


あそびのしんぴ



2人で楽しく頭の体操

車将棋

将棋、囲碁、チェス、オセロなど、盤の上で駒を動かす遊びは楽しいものです。駒の置き方が分かってくると、自分の駒の動きに相手がどう反応するか、相手の駒の動きのの心の動きを敏感に察知し、盤は小さな宇宙です。広い空間で繰り広げる盤勝負の始まりです。

まずは紙と鉛筆を用意。十円玉と一円玉をそれぞれ三枚ずつ（ドングリ三個と小石三個でもOK）手にしたら、遊び

は、老若男女を問わずいつでも人気。今回は、入門編として「車将棋」を紹介します。

- 【人数】 2人
- 【場所】 室内
- 【道具】 紙と鉛筆、駒となる物3個ずつ
- 【遊び方】

①B6判程度の紙を用意。「ホークスの監督の名前は?」「王監督!」などと言いながら、紙いっぱいに「王」の字を書く。

②次に「王」の字の中央に野球のダイヤモンドを書く。

③「王」の字の各線の端と交点に、駒が入る円を書く（全部で円は11カ所になる）。

④上下の線の三つの〇にそれぞれ駒を置いたら、先攻後攻を決めてゲーム開始。相手の3駒をすべて挟み込み、動かせなくなったら勝ちです。

⑤中央のダイヤモンドを目指して1こまずつ駒を進めていく。一方通行の場所が上下に3カ所ずつあり、そこは一度駒を進めると後に戻れない。中央のダイヤモンドの中は自由に動けるが、駒を飛び越したり、2マス動かすことはできない。

⑥勝つ方法は3通り。2人でゲームを楽しみながら勝つ方法を研究したら、頭の体操にもなります。

九州あそびの研究所・中島宏所長
問い合わせは092(882)0363